

(19)



JAPANESE PATENT OFFICE

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11) Publication number: 10085044 A

(43) Date of publication of application: 07.04.98

(51) Int. CI
A46B 15/00
A46B 1/00
A46B 9/02

(21) Application number: 08267802
(22) Date of filing: 17.09.96

(71) Applicant: KATO KENZO
(72) Inventor: KATO KENZO

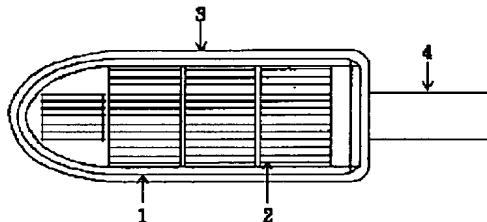
(54) BRUSH FOR ANIMAL

(57) Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To easily manufacture a brush at a low cost and to give no danger to an animal, by integrally forming a brush main body by a flexible material and a plurality of plate comb tooth members with prescribed width on the upper face of the main body.

SOLUTION: This brush for an animal is made by integrally forming a brush main body 1 by a flexible material and a plurality of plate shaped comb tooth members 2 with prescribed width on the upper face of the main body. A detachable cover is mounted on the periphery of the main body and a suction tube 4 with one end facing the upper face of the main body is integrally formed on the cover. Grabbing opposite sides of the brush main body 1, a user can arbitrarily narrow intervals of the plate comb tooth member 2 with prescribed width on the main body 1 by acting force such as grasping power so that hair of an animal can be grabbed into intervals to pull out efficiently.

COPYRIGHT: (C)1998,JPO



Mullen
soft
plastic

(19)日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平10-85044

(43)公開日 平成10年(1998)4月7日

(51)Int.Cl.⁶

A 4 6 B 15/00
1/00
9/02

識別記号

F I

A 4 6 B 15/00
1/00
9/02

D

審査請求 有 請求項の数2 FD (全3頁)

(21)出願番号

特願平8-267802

(22)出願日

平成8年(1996)9月17日

(71)出願人 596135478

加藤 慶三

広島県廿日市市上平良942-1

(72)発明者 加藤 慶三

広島県廿日市市上平良942-1

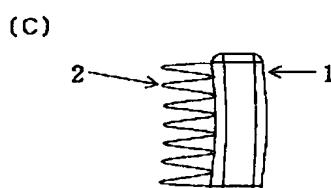
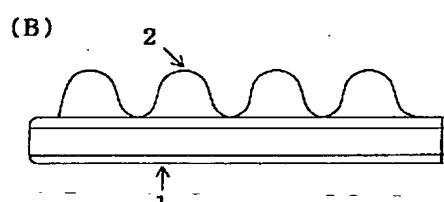
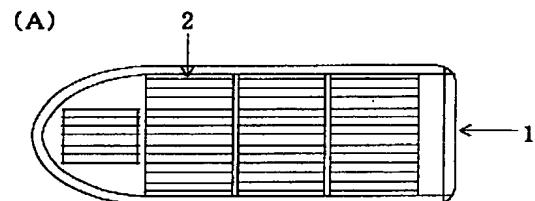
(74)代理人 弁理士 三原 靖雄

(54)【発明の名称】 動物用ブラシ

(57)【要約】

【課題】動物の毛など梳かし、かつ抜け毛を抜くための機能を有する動物用毛抜きブラシを提供する。

【解決手段】可撓性を有する素材で、ブラシ本体1と、該本体の上面に、所定幅を有する、板状の複数本のくし刃部材2を一体に形成したことを特徴とする動物用ブラシを確保する。



【特許請求の範囲】

【請求項1】可撓性を有する素材で、ブラシ本体(1)と、該本体の上面に、所定幅を有する、板状の複数本のくし刃部材(2)を一体に形成したことを特徴とする動物用ブラシ。

【請求項2】可撓性を有する素材で、ブラシ本体(1)と、該本体の上面に、所定幅を有する、板状の複数本のくし刃部材(2)を一体に形成し、該本体の周囲に着脱自在のカバー(3)を設けると共に、該カバーには、一端部が該本体の上面に臨ませた吸引筒(4)を一体に形成したことを特徴とする動物用ブラシ。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、動物の毛などを梳かし、かつ抜け毛を抜くための機能を有する動物用ブラシに関する。

【0002】

【従来の技術】従来の動物用ブラシは、たわし状のブラシ或いはヘアブラシの様な簡単なものから、それらに脱毛類が周りに落ちないようにカバー付けたブラシ等があり、更にカバー付きブラシ内の脱毛類を吸引する、吸引機付きブラシ(実開、平2-112120)，或いはペット用ブラシ(実開、平1-149944)等があり、その他、ブラシに回転機構を付与した電動式ブラシ等、多数見受けられるが、実際に用いられているものは数少ない。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】従来の動物用ブラシとしての、たわし状のブラシ或いはヘアブラシの様な簡単なものでは、脱毛類が周りに飛散する欠点を有し、カバー付きブラシ内の脱毛類を吸引する、吸引機付きブラシ或いはペット用ブラシでは、くし刃の形状が針状なので、ブラシの間隔を人為的に調節して毛を挟み込んだり、掴んだりして抜くことが出来ず、こびりついた脱毛等を吸引だけで抜くことが困難であり、また電動式ブラシ等では構造が複雑で、機械的な作動を用いるので、動物に対する危険性もあり、故障など実用向きではない問題点を有していた。

【0004】

【課題を解決するための手段】上記の問題点を解決するために、本発明の動物用ブラシは全素材を、ゴム或いは軟質性プラスチック等、可撓性を有する材料を用いており、ブラシ本体上に所定幅を有する、板状の複数本のくし刃部材を有し、掃除機等の吸引機に接続可能な吸引筒を有するカバーをも用いられる事を特徴とする。

【0005】

【発明の実施の形態】本発明の動物用ブラシは、ゴム或いは軟質性プラスチック等、可撓性を有する素材で、ブラシ本体と、該本体の上面に、所定幅を有する、板状の複数本のくし刃部材を一体に形成したことを特徴とす

る。

【0006】本発明の動物用ブラシは、可撓性を有する素材で、ブラシ本体と、該本体の上面に、所定幅を有する、板状の複数本のくし刃部材を一体に形成し、該本体の周囲に着脱自在のカバーを設けると共に、該カバーには、一端部が該本体の上面に臨ませた吸引筒を一体に形成したことを特徴とする。

【0007】本発明の動物用ブラシは、ゴム或いは軟質性プラスチック等、可撓性を有する材料を用いており、10 ブラシ本体の相対する側面を手を用いて挟み込み、使用時に握力など力を作用させることにより、該ブラシ本体上の所定幅を有する、板状の複数本のくし刃部材の間隔を任意に狭める事が出来るので、動物の毛を該間隔内に挟み込み効率よく抜くことが出来る。

【0008】本発明の動物用ブラシは、掃除機等の吸引機の吸引筒を接続する為の吸引筒を有する、可撓性を有する素材から成るカバーを用いて、該カバー外側から複数本のくし刃部材の間隔を任意に調節し、該動物用ブラシ内部に抜けた動物の毛及びほこり等を外部に吸引しながら用いる事も出来る。

【0009】本発明の動物用ブラシは、ブラシ本体と複数本のくし刃部材とは可撓性を有する素材で一体成形して造る事ができ、且つ該ブラシ本体は中空状に成形し、該空洞部に硬質スポンジ等の可撓性を有する素材を詰め込み、蓋をして造ることもできる。

【0010】

【実施例】この発明の実施例を図面を参照して以下説明すると、図1は本発明の実施例を示す、動物用ブラシの(A)は正面図、(B)は立面図及び(C)は側面図であり、ゴム或いは軟質性プラスチック等、可撓性を有する素材から成る、船形のブラシ本体(1)上に複数本のくし刃部材(2)を有する事を特徴とする。

【0011】本発明の実施例に用いた、動物用ブラシのブラシ本体(1)側面に力(F)を加えない場合の側面断面図、力(F)を加えた場合の側面断面図をそれぞれ図2(A)及び(B)に示しており、ゴム或いは軟質性プラスチック等、可撓性を有する素材から成る動物用ブラシなので、該ブラシ本体側面にFを加えない場合のブラシ間隔をdとすれば、Fを加えた場合のブラシ間隔d'はdに比べて小さくする事が出来る作用を有する。

【0012】本発明の実施例に用いた、動物用ブラシに掃除機等の吸引機に接続する為の吸引筒(4)を有するカバー(3)を用いた場合の正面図及び中心断面図をそれぞれ、図2(A)、(B)に示しており、該動物用ブラシ内部で抜かれた毛等を、該吸引口を通じて外部に吸引する事も出来る。

【0013】

【発明の効果】本発明は、以上説明した様な形態で実施され、以下に記載される様な効果を有する。

【0014】この発明の動物用ブラシは、ゴム或いは軟

質性プラスチック等、可撓性を有する素材から成る、ブラシ本体上に複数本のくし刃部材を有する簡単な構造なので、容易にしかも安価に造ることができ、可撓性を有する材料なので、動物に対して危険性を及ぼさない効果を有する。

【0015】この発明の動物用ブラシは、ゴム或いは軟質性プラスチック等、可撓性を有する材料を用いているので、ブラシ本体の相対する側面を手を用いて挟み込み、加える握力を調節することにより、所定幅を有する、板状の複数本のくし刃部材の間隔を人為的に狭める事が出来るので、動物の毛を該間隔内に挟み込み効率よく抜くことができ、作業中に動物の毛の状態を観察しながら、きめ細かく作業を行う事が出来る効果を有する。

【0016】この発明の動物用ブラシは、このまま簡便に用いることもでき、或いは掃除機等の吸引機を吸引筒を有するカバーに接続して、該カバー外側から所定幅を有する、板状の複数本のくし刃部材の間隔を任意に調節し、ブラシ内部に抜けた動物の毛及びほこり等を外部に *

* 吸引しながら用いる事も出来る。

【図面の簡単な説明】

【図1】この発明の実施例を示す、動物用ブラシの(A)は正面図、(B)は立面図及び(C)は側面図。

【図2】この発明の実施例を示す、動物用ブラシの(A)は力を加えない場合の側面断面図、(B)は力を加えた場合の側面断面図。

【図3】この発明の実施例を示す、動物用ブラシに吸引筒を有するカバーを用いた場合の(A)は正面図及び(B)は中心断面図。

【符号の説明】

- 1 ブラシ本体
- 2 くし刃部材
- 3 カバー
- 4 吸引筒
- d, d' くし刃間隔
- F 力

